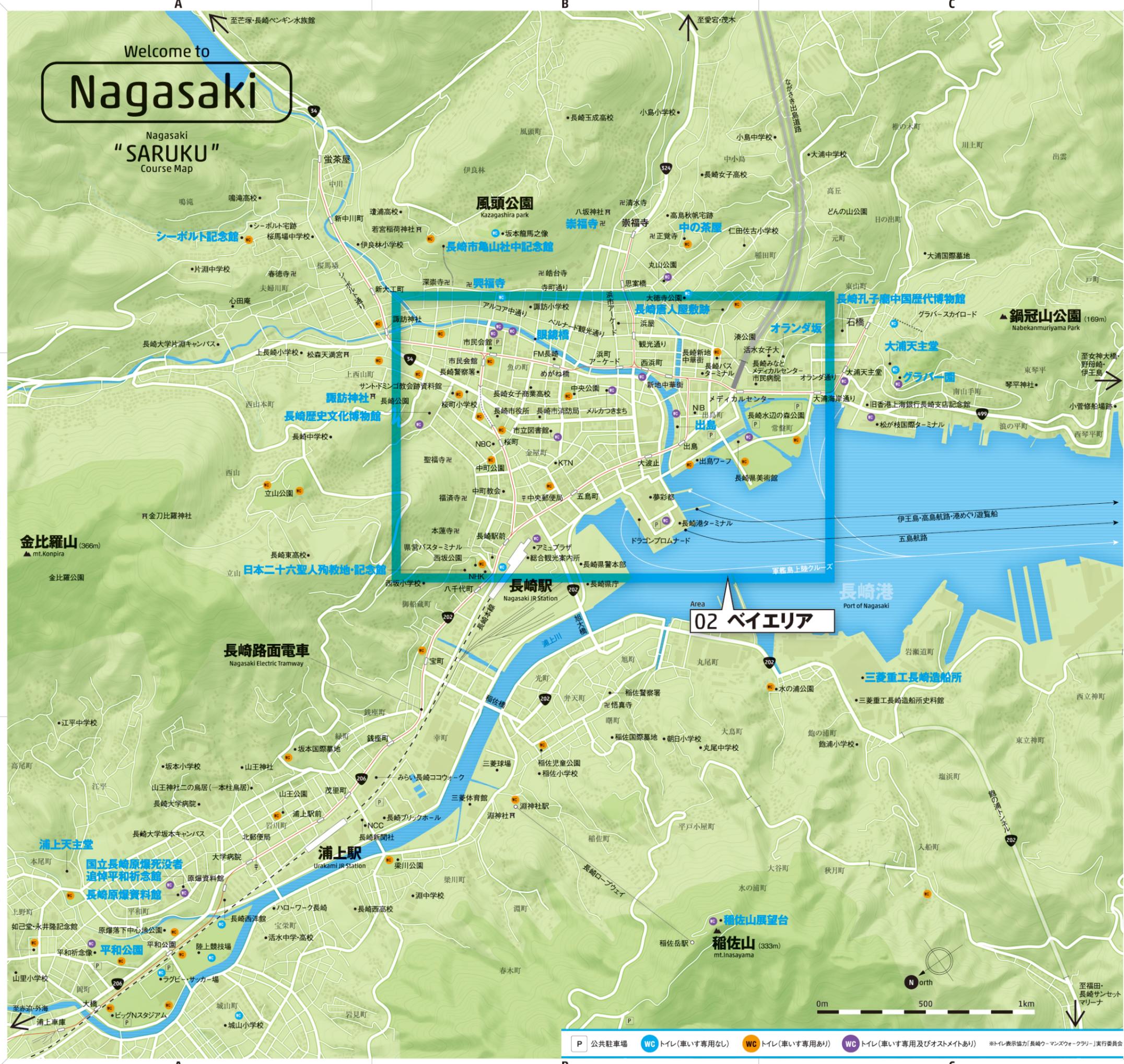


Welcome to
Nagasaki

Nagasaki
"SARUKU"
Course Map



Welcome to
Nagasaki
Nagasaki
"SARUKU"
Course Map

Area
02
"Bay Area"

長崎さるくコースマップ

ベイエリア

長崎駅から
長崎港まで
潮風に吹かれて



- さるくコース / 1 "SARUKU" Course / 1
- さるくコース / 2 "SARUKU" Course / 2
- さるくコース / 3 "SARUKU" Course / 3
- さるくコース / 4 "SARUKU" Course / 4

長崎のへそ・昔と今の物語
長崎はローマだった
海舟と龍馬の鼓動を感じて
みなと長崎潮風散歩

P 公共駐車場 WC トイレ(車いす専用なし) WC トイレ(車いす専用あり) WC トイレ(車いす専用及びオストメイトあり)
 ※トイレ表示協力「長崎ウーマンズワークス」実行委員会

長崎流まち歩き「さるく」は3タイプ

「さるく」とは、まちをぶらぶら歩くという意味の長崎弁。このマップを入手した瞬間から自由に歩く「遊さるく」以外にも、ガイドがご案内する「通さるく」、長崎ならではの体験メニュー・長崎を味わう「学さるく」を好奇心おもむくままにご参加いただけます。

- 長崎「遊さるく」→ 自由気ままに長崎散策
- 長崎「通さるく」→ 長崎名物ガイドツアー(予約制)
- 長崎「学さるく」→ 長崎ならではの体験する(予約制)

「通さるく」「学さるく」の申込方法

ご予約申込先は2つの方法

ホームページ

さるく 検索

<http://www.saruku.info/>

電話 **095-811-0369**
受付時間/9時~17時半(12/29~1/3休)

コースによって内容や料金が異なります。
詳しくは、「長崎さるく」のホームページ又はパンフレットをご覧ください。電話でお問い合わせください。

長崎さるくナビ 無料

長崎さるくの人気コースがアプリになったよ！地図に従って散策すれば音声案内が長崎の魅力を発信。ゆかりのある古写真や、近隣のショップも紹介。トイレの場所も教えてくれるよ。

iPhone・iPadをお持ちの方

- App Storeで「長崎さるくナビアプリ」を検索
- アプリ詳細説明画面で「Appをインストール」ボタンを押してください。

Androidをお持ちの方

- Google Playで「長崎さるくナビアプリ」を検索
- アプリ詳細説明画面で「インストール」ボタンを押してください。

●お問合せ/長崎国際観光コンベンション協会
長崎さるく受付
電話/095-811-0369

発行/一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会
企画/さるくマップ制作委員会
協力/NPO法人長崎コンパドル
編集/川良真理
制作/一般社団法人 ナガサキベイデザインセンター
アートディレクション/岡本一宣
デザイン/岡本一宣デザイン事務所+ワタナベカズヒロ
地図デザイン協力/アトリエ・プラン
イラストレーション/中倉奈津美
表紙写真/PIXTA

ベイエリアのキーパーソン

The key person of Bay-Area

外から来た人が長崎で重要な役割を担い、日本を大きく動かしていく。それが、場としての長崎の役割

ルイス・フロイス
Luís Fróis

1532-1597
イエズス会宣教師。ポルトガル生まれで永禄6年(1563)来日し、織田信長の庇護をうけます。その後キリシタン追放令をうけて拠点を地方へ移します。長崎へは天正18年(1590)に入り、慶長2年(1597)の二十六聖人の殉教に遭遇、イエズス会への報告書「日本史」に書き記しています。翌年、サン・パウロ教会のコレジョで息を引き取りました。

勝海舟
Katsu Kaisyu

文政6年(1823)-明治32年(1899)
江戸無血開城に尽力した幕臣。30代で長崎海軍伝習所の塾生となり、航海術や砲術を学びました。本蓮寺の塔頭に4年間滞り、恋仲になったお久との間に、後に一男をもうけています。また、元治元年(1864)幕府の軍艦奉行並として坂本龍馬をはじめとする志士たちと共に2度目の来崎を果たしています。

中浦ジュリアン
Julião

1569年ごろ-寛永10年(1633)
天正遣欧使節としてローマに渡った4人の少年のうちの一人。宣教師として潜伏しながら活動を続けました。捉えられ、西坂の刑場に入る際に代官に向かって「私はローマへ行った中浦ジュリアン神父である」と叫んだとされています。1621年に口之津でローマあてにポルトガル語で書いた手紙の写しが、二十六聖人記念館に展示されています。

遠山左衛門尉景晋
Toyama Saemon-no-jo Kagemichi

任期・文化9年(1812)-文化13年(1816)
長崎奉行の一人。権限が集中し職権乱用もはびこっていた長崎奉行にあって、大火事の後は罹災者への救済をほどこすなど誠実に勤め上げ、勘定奉行に昇進しています。息子は「遠山の金さん」でおなじみの遠山金四郎景元。奉行所近くの料亭「迎陽亭」跡には、景晋が文化元年(1804)に建てた「遠山燈籠」があります。

Column

人と人が出会い 異文化がぶつかった 交差点を歩く

大航海時代、西洋と東洋の文化が交わった場所は世界中にいくつかありましたが、その多くが今ではすっかり様子が変わってしまいました。400年の時を越え当時の遺構が保存され、今も文化交流の様子が手に取るようにわかるのは、日本はもちろん世界でも、ここ史跡出島だけ。

出島の話

寛永11年(1634)、長崎市中で自由に貿易をしていたポルトガル人たちを収容するために、江戸幕府がこしらえた、出島。しかしそのお金は長崎の25名の町人が出資していました。キリシタン禁制が厳しくなり、ポルトガル人が国外追放された後、平戸から出島に移されてきたのがオランダ人。その後約250年間に渡り、オランダ東インド会社が日本と独占的な交易を、出島で展開します。オランダ人が出島町人に支払った家賃は年間1億円ですが、それだけ払っても貿易を続ける旨味があったのでしょう。出島には、出入りが許された阿蘭陀通詞や料理人、花街丸山の遊女など、多くの長崎人が、深く関わってきました。人と人が出会い異文化がぶつかれば、摩擦熱が起これ、多くの事件や物語が生まれます。

出島を歩きながら、その特異な物語にふれてみるのも、長崎らしい旅の形といえるのではないのでしょうか。

16世紀から17世紀にかけて、長崎の街のあちこちにはキリスト教の教会が建ち、ポルトガル人が行き交っていたといえます。まるで小さなローマ「小ローマ」である、と当時の様子を記した宣教師の記録にも残っています。永禄12年(1569)に初めての教会、トードス・オス・サントス教会が建てられてから45年間、この街の人々はほとんどがキリシタン。岬の教会(サン・パウロ教会)、山のサンタ・マリア教会などの数多くの教会、キリスト教の教義を学ぶ教育施設であるコレジョやセミナリオ、病院や孤児院が多くありました。

Column

消えた教会 長崎がローマだったころ

しかし17世紀初めの、たび重なる禁教令により、これらの教会や施設は破壊され、消えてしまいました。時代をこえ、今もひっそりと残る当時の井戸。教会跡地の遺跡からは、メダイや花十字紋瓦が出土されることもあります。消えたキリシタン文化の面影をたどって教会跡をめぐれば、400年の時を越えてかつての街の匂いが甦ってくるかもしれません。

路面電車/路線案内

系統 区間(経由)

- ① 赤迫 ↔ (大波止) ↔ 崇福寺
- ③ 蛸茶屋 ↔ (桜町) ↔ 赤迫
- ④ 蛸茶屋 ↔ (西浜町) ↔ 崇福寺
- ⑤ 蛸茶屋 ↔ (西浜町) ↔ 石橋

Hotarujiya Shin Nakagawa-Machi Shindaiku-Machi Suwajinja

③ ④ ⑤

蛸茶屋 新中川町 新大工町 諏訪神社

Sofukuji Shianbashi Kanko-Dori

① 崇福寺 思案橋 観光通り

Ishibashi 石橋 大浦天主堂

大浦海岸通り Ourakagan-dori

メデイカルセンター Medical Center

市民会館 Shimin Kaikan 桜町

Shimin Kaikan 市民会館 Sakura-Machi 桜町

市民会館 Shimin Kaikan めがね橋 Meganebashi 浜町アーケード Hamano-Machi Arcade 西浜町 Nishihama-Machi 新地中華街 繁華1丁 Shichi Chuka-Gai 出島 Dejima

大波止 Ohto

五馬町 Goto-Machi

長崎駅前 Nagasaki Eki-Mae

八千代町 Yachiyo-Machi

銭座町 Zenza-Machi

宝町 Takara-Machi

茂町 Mouri-Machi

浦上駅前 Urawa Eki-Mae

大学病院 Daigaku Byoin

原爆資料館 Genbaku Shiryokan

平和公園 Heiwa Koen

大橋 Ohashi

浦上車庫 Urawa Kuraku

岩屋橋 Iwayabashi

長崎大学 Nagasaki Daigaku

若葉町 Wakaba-Machi

千歳町 Chitose-Machi

昭和町 Shouwa-Machi-Dori

住吉 Sumiyoshi

赤迫 Akasako

※新地中華街で、車内においてのりつき券を発行します。
●電車一日乗車券は、総合観光案内所(JR長崎駅構内)、市内主要宿泊施設などで販売しております。(電車内での販売はございません。)

●お問合せ/長崎電気軌道(株) ●電話/095-845-4111

Bay Area

ベイエリア

長崎は港から生まれた街
潮風に吹かれながら、しみじみと
400年の時の流れを感じてほしい



↑中町教会

Around The Station

駅まわり

Spot 1

西坂公園

(日本二十六聖人殉教地)

長崎駅から徒歩5分の西坂公園は、長崎の歴史を振り返るのに欠かせない場所。16世紀末、多くのキリストンによって造られた街、長崎。しかし豊臣秀吉の禁教令により、慶長元年2月(1597)信者や宣教師ら26人が西坂の丘で殉教します。公園内に日本二十六聖人の記念碑や記念館があり、日本のキリストンの歩みがわかる史料が展示されています。

本蓮寺

Spot 2

16世紀末から、この地にあったサン・ラザロ病院とサン・ジョアン・バプチスタ教会が禁教令により破却され、その後元和6年(1620)にできたのが、本蓮寺。長崎三大寺の一つとも言われ、一面にあった塔頭には勝海舟も4年間滞在しました。海軍伝習所で航海術や砲術を学んでいた勝は、寺の近くに住んでいたお久(梶クマ)とのロマンスも伝えられています。



●このマップは「さるくマップ制作委員会」で制作しました。おすすめポイントやショップもチームで検討してピックアップしたものです。
●施設の閉館時間は通常の場合で、年末年始、季節によって変動あり。 ●データはすべて平成27年4月現在のものです。

中町教会

Spot 8

祭壇のザビエルゆかりの十字架は必見
見上げるほど大きな白亜の教会は、江戸時代初めに殉教し聖人となった聖トマス西と15人の聖人に捧げられています。教会のなかには美しい10枚のステンドグラスと、フランシスコ・ザビエルゆかりの「ほほえみの十字架」が掲げられています。



西勝寺

Spot 6

遠藤周作の代表作「沈黙」では、宣教師フェレイラが宗旨変えをし、キリストン専門の目明し「沢野忠庵」になるというくだりがあります。長崎奉行所に近く、御用寺であった西勝寺には、沢野忠庵の署名入りの「キリストンころび証文(転宗したことを記した誓詞)」が残されています。※非公開

長崎歴史文化博物館

Spot 7

江戸時代に長崎奉行所立山役所のあった場所に建てられた博物館で、発掘された階段を上ると、堂々たる門構え。立山役所を復元したエリアにはお白洲まで。ここには、イカルス号事件の審判の折は、坂本龍馬も訪れています。また常設展は、「海外交流史」をテーマにしており、多彩な展示品ともども必見です。

- 開館8時半～19時(季節によって変更あり)
- 観覧料大人600円、小中高生300円
- 毎月第3火曜休(祝日の場合その翌日) ●095-818-8366



サント・ドミンゴ教会跡資料館(旧代官屋敷)

Spot 8

400年前の教会建築の遺跡
小学校の改築工事中、遺跡と多くの花十字瓦が発掘されたことから、それを保存展示する資料館が作られました。16世紀末の長崎開港期、長崎代官でキリストンでもあった村山等安所有のこの土地に、慶長14年(1609)建てられたのがサント・ドミンゴ教会。その後末次家、高木家などの代々の代官屋敷となり、明治には小学校に。貴重な約400年前の教会の井戸や石畳などの遺跡が見学できます。

- 開館9時～17時 ●入場無料 ●Tmなし
- 休館日 月曜日

大音寺坂

Spot 9

通称「喧嘩坂」。あの赤穂浪士の討ち入りの参考にもされたという「ケンカ」の発端がこの坂だったのです。元禄13年(1700)、この坂で、深堀武士2人と町年寄の仲間惣内がすれ違い、もめ事となったのがきっかけで、討ち入り騒ぎがありました。一連の顛末は深堀義士伝と呼ばれ、その1年後に赤穂浪士が討ち入ったのです。その他、石垣にある「正面」の赤文字をなでると字が上達するというわけがあります。

Shop Information

- ① 坂本屋** B-2
長崎の卓袱料理に欠かせない豚の角煮「東坡煮」が名物。卓袱料理が有名ですが、宿泊もできます。
●長崎市金屋町2-13 ●095-826-8211
- ② 松尾珈琲店** B-2
日本でコーヒーが初上陸した長崎らしく、素材を厳選し四季に合わせてコーヒーを焙煎。
●長崎市万才町1-5 ●095-827-1762
- ③ 紅灯記** B-2
長崎の旬の食材を生かした広東料理が美味しい。おすすめは窯焼きのチャーシューどっさり「ネギソバ」。
●長崎市万才町3-2 ●095-826-3004
- ④ 池田屋** B-2
長崎市立図書館1階にあるカフェレストラン。煮込みハンバーグやドライカレーが美味。アンティークな空間。
●長崎市興善町1-1 ●095-820-3751

港まわり

Around The Bay



Shop Information

- ⑤ 築町商店街** B-1
長崎の台所として歴史のある商店街。特にからすみの老舗の「高野屋」(さるく見開館)、小野原からすみをはじめ海産物加工品や鮮魚店の老舗などが軒を連ね、「お正月のおせち用はここぞ」という長崎人も多い。
●長崎市築町
- ⑥ 江戸町商店街** C-1
江戸町の町印「タコノマクラ」があちこちに配されています。夜中に開店する卸店があるかと思えば、おしゃれなフレンチビストロ「ソリレス」や手ぬぐいなどオリジナルなお土産が見つかる「たてまつる」といった個性的なショップも多く、若者にも気になる通り。
●長崎市江戸町
- ⑦ 猪ノ口屋** B-1
築100年以上の古い町家を改造したダイニング。刺身から、ワインに合うハモンセラーノまで本格展開。
●長崎市築町4-11 ●095-821-0454
- ⑧ レストラン銀嶺** A-2
創業昭和5年、ランプや骨董品に囲まれた老舗レストラン。鍛冶屋町から博物館内に移転しましたが、洋食メニューの美味しさは変わらず。
●長崎市立山1丁目1-1 ●095-818-8406
- ⑨ ますさきのパン** A-2
大正7年の創業当時は馬車で販売していたという“まちのパン屋さん”。おすすめはサラパン。
●長崎市玉園町2-24 ●095-811-5338
- ⑩ 田中旭榮堂** A-2
栗飯頭老舗。大きな栗飯頭も店頭。昔の広告に使われた「栗王子」の看板が印。
●長崎上町3-6 ●095-822-6307
- ⑪ 明治屋ハム** A-2
ドイツの伝統的な製法によるハムやソーセージは定評あり。出島の製法を再現した「長崎火腿」も珍しい。
●長崎市上町2-7 ●095-822-0920
- ⑫ 長崎駅前商店街** A-3
黄色い提灯がびっしり並んだ賑やかな商店街。駅前らしく、情報ステーションとしても便利な旅人茶屋や外国人向けのお土産のあるすみや本店、ちゃんぽん、天ぷらの店などが両サイドにずらり。
●長崎市大黒町



大波止の鉄玉(鉄砲ん玉)

Spot 12

350年間も鎮座するトレードマーク
長崎七不思議として「玉はあれども大砲なし」と歌に唄われた長崎名物。実は島原の乱を治めるために寛永15年(1638)に長崎で造られたとも言われ、約350年間、大波止に置かれています。くんちの踊町である元船町の傘鉾には、この玉を模した物が飾られています。



長崎港ターミナル

Spot 13

島に行く船はここから出発
ここからは五島、上五島、高島、伊王島など、島々への定期航路があります。また、軍艦島行きの船もここから出発。玄関を入ると軍艦島のジオラマがあり、一角には昔懐かしいうどん屋さんも健在。また2階ロビーからは港全体が見渡せます。

出島岸壁(出島ワーフ)

Spot 14

上海と結ばれていた岸壁で過ごすひととき
海の向こうは…上海！大正12年(1923)から20年間、この出島岸壁からは長崎上海航路が開かれていました。当時、長崎から東京へは車で36時間、上海へは船で26時間。上海の方がだんぜん近かったのです。船に乗せる貨物用の鉄道もここで敷かれていました。当時の縁石を修復して設置した岸壁は歩きやすいウッドデッキも敷かれ、平成12年(2000)に複合商業施設「出島ワーフ」が完成。港の風景を楽しみながらくつろげる空間が市民や観光客に愛されています。



長崎水辺の森公園

Spot 15



スリパチの底は芝生で覆われた水辺の公園
ぐるり360度、スリパチ状の長崎の地形を体感できる贅沢な公園です。

行きかう船や女神大橋、運が良ければ、松が枝国際ターミナルに豪華客船が係留しているのにお目にかかれます。埋立地にありながら運河を巡らせており、多くの橋と噴水、しゃれた石のベンチが点在しています。平成16年(2004)にはグッドデザイン賞を受賞しました。



長崎県美術館

Spot 16

運河を挟んだおしゃれな美術館
隈研吾設計。スレート状の石板に囲まれた建物が、運河を挟んで左右に佇み、不思議な存在感です。東洋有数のスペイン美術コレクションは常設展で堪能できます。2つを結ぶ回廊や屋上庭園など無料で入れるスペースもたっぷり。カフェやミュージアムショップも。
●開館10時～20時
●観覧料(美術館コレクション)一般400円、大学生・シニア(70歳以上)300円、小中高生200円※県内の小中学生無料
●第2・4月曜休、祝日の場合火曜 ●095-833-2110

四番税関波止遺構

Spot 17

明治時代の貴重な遺構
かつてここが海岸線だったことから、明治時代の長崎税関四番波止の遺構が保存されています。外国船の積荷は小舟に乗せられここで荷揚げされ、手続きが済むと馬車に乗せられて背後にあるオランダ坂などを通って商館に運ばれて行ったのです。

Welcome to Nagasaki

"SARUKU" Course Map

1 さるくコース/1 長崎のへそ・昔と今の物語

1.9km/148kcal

2 さるくコース/2 長崎はローマだった

1.5km/115kcal

3 さるくコース/3 海舟と龍馬の鼓動を感じて

1.5km/119kcal

4 さるくコース/4 みなと長崎潮風散歩

2.9km/229kcal

長崎さるく説明板

1 長崎奉行所(立山役所跡)	23 旧長崎市役所庁舎
2 長崎会所跡	24 報時所
3 西園寺公望仮寓居跡	25 萩藩蔵屋敷跡・巖流坂
4 聖福寺	26 詩備吉村辻倉遺跡
5 幣振坂	27 活版伝習所跡
6 福濟寺全景・福濟寺	28 唐通事会跡
7 福濟寺から港風景	29 小曾根邸の跡
8 聖無動寺	30 ミゼリコルディア本部跡
9 サンラザロ病院 サン・ジョアン教会跡	31 五足の靴跡
10 本蓮寺	32 吉雄精牛宅跡
11 勝海舟寓居の地	33 勝海舟・榎本武揚
12 北瀬崎蔵跡	34 6つの町の成り立ち
13 熊本藩蔵屋敷跡	35 南甕船来航の波止場跡
14 佐賀藩蔵屋敷跡	36 大波止方面から県庁を望む
15 平戸藩蔵屋敷跡	37 長崎電話交換局の跡
16 島原藩蔵屋敷跡	38 上海航路と出島新岸壁
17 大村藩蔵屋敷跡	39 出島橋
18 斉藤茂吉寓居の跡	40 大浦海岸通り
19 唐津藩蔵屋敷跡	41 4オランダ坂、活水女子学校
20 サント・ドミンゴ教会跡	42 長崎英国領事館とホームリンガー商会
21 末次平蔵宅跡	43 ウィリアム・ジョン・オルト、フレデリック・リンガー
22 サン・フランシスコ教会(修道院)跡	44 榊林鎮山宅跡 福沢諭吉

昔のまちなみや長崎ゆかりの人物の写真等で往時を偲ぶことができます。
4カ国語表記(日・英・中・韓)

